

「大峰高原生物多様性保全エリア」が OECM として 国際データベースへ登録

～自然共生社会の実現に向け、地域と連携した森林保全を推進～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）が里山保全等の活動を実施している「大峰高原生物多様性保全エリア」が、国連環境計画世界自然保護モニタリングセンター（UNEP-WCMC）が管理する国際データベースに「OECM^{※1}」として登録されたことをお知らせいたします。



環境省は、民間等の取り組みにより生物多様性の保全が図られている区域を「自然共生サイト」に認定しており、令和 6 年度に認定した区域のうち保護地域と重複しない 6.4 千 ha を OECM として国際データベースに登録しました。累計登録面積は 54.5 千 ha となり、「30by30 目標^{※2}」に向けた取り組みが一步前進しています。

「大峰高原生物多様性保全エリア」は、生物多様性を目指した保全活動や CO₂ の吸収源となる森林づくりなど、SDGs 達成に向けた取り組みが評価されました。その結果、2024 年 10 月に環境省の「令和 6 年度前期 自然共生サイト」に認定、このたび OECM への登録となりました。

「大峰高原生物多様性保全エリア」は、長野県北安曇郡池田町の北部に位置する標高約1,000m、面積約116haの高原です。七色大カエデや白樺の森を中心とした区域で、国や県のレッドリストに掲載されている野生生物が18種確認されています。当社は、自然共生サイトの申請者である「大峰高原里山整備利用推進協議会」の一員として、里山の整備・利用を通じた持続的な里山の管理や、自然環境の維持に取り組んでいます。活動としては、当社のボランティア隊を春・秋の年2回派遣しており、森林保全の間伐、植林、モニタリングなどを地元の皆さまや専門家の指導の下に行っているほか、郷土食作り体験や地元の皆さまとの交流会など、地域交流にも努めています。



大峰高原生物多様性保全エリア全景



当社ボランティア活動集合写真



間伐作業の様子



モニタリング作業の様子

住友理工グループは、天然ゴムをはじめ、大気や水、鉱物など様々な自然の恵みを利用して事業活動を行っています。当社グループが策定した「住友理工 環境長期ビジョン 2050」では、これら自然の恵みや自然環境を事業活動によって破壊することなく、後世に引き継いでいく責任があることを認識し、自然共生社会へ貢献することを掲げています。今後も自然との共生、生物多様性保全のため、近隣地域の皆さまとともに活動範囲を広げてまいります。

<環境省 自然共生サイト等の国際的なデータベースへの登録について>

https://www.env.go.jp/press/press_00360.html

<環境省 自然共生サイト>

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

<住友理工 サステナビリティサイト>

<https://www.sumitomoriko.co.jp/sustainability/>

以 上

-
- ※1 Other Effective area-based Conservation Measures の略。法令によって自然が守られる保護地域ではなく、民間等の自発的な取り組みにより自然が守られている地域。
- ※2 2030 年までに陸と海の 30%以上を保全することを目指す目標で、COP15（昆明・モントリオール生物多様性枠組）で採択されたもの。

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェア（自社調べ）の防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動部品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部／〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>